

第5学年 インターネット安全教室 学習指導案

1. 日 時 平成28年5月6日（金）5校時

2. ねらい

○インターネットのよさや危険性を知り、利用するうえでのルールを破ると、人を傷つけることを知る。

○危険性やルールを認識することで、児童一人一人が自分の人権、他の人の人権を大切にできるようにし、実生活に生かせるようにする。

3. 人権教育の内容

思いやりの心の育成 3－（2）－ア

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1. インターネット教室の授業の内容を思い出し、感想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットのよいところ、便利なところ ・インターネットのマイナス面や危険なところ <p>2. 自分や友達の人権を守るために「インターネット」をどう利用すればよいか、どんなことに気をつければよいかを話し合う。</p> <p>自分を守るために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に実名で登録しない。 ・ID、パスワードをネット上に書かない ・ネットで知り合った人に会わない ・無料に惑わされない ・見覚えのないメールへ返信しない ・不当な請求は、払わない ・プレゼントやモデルなどの誘い文句にはむやみにのらない。 <p>他の人を大切にするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪口を書き込まない。 ・噂話をのせない ・チェーンメールは転送しない ・使用する言葉に気を付ける ・個人情報が無断でのせない ・他人の書き込みをあおる書き込みをしない <p>3. 事例1について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例からインターネットの利用の仕方について考える。 ・軽い気持ちで・・・ ・多くの人に情報が広まる ・写真を撮られた人の嫌な思い 	<p>○便利なところと危険なところの両面があることに気付かせる。</p> <p>○授業から知ったことだけでなく、実際に使っていて感じていることも発表できるようにする。</p> <p>○出てきた意見を（自分を守るために）（他の人を大切にするために）という項目で分けることで「自分は自分で守る」という意識を高め、顔が見えないからこそ相手の人権を守らなければならないことに気付くようにする。</p> <p>○トラブルの原因は関わった子供たちの面半分が無責任な行為であることをとらえさせる。</p>

